

ムカシヤマガキの葉の化石

柿のご先祖様はどこから？

群馬県南牧村の「^{なんもくむら}兜岩層^{かぶといわそう}」からは、ムカシヤマガキの葉の化石が産出しています。(約 350 万年前(^{せんしんせい}鮮新世)の地層)



ムカシヤマガキの葉の化石
下仁田町自然史館所蔵
SNM-F-kb-564

柿のご先祖様はどこから？

説① 大陸(中国)から人が持ち込んだ

説② 日本原産の柿が自生していた
(化石からもみつまっている)

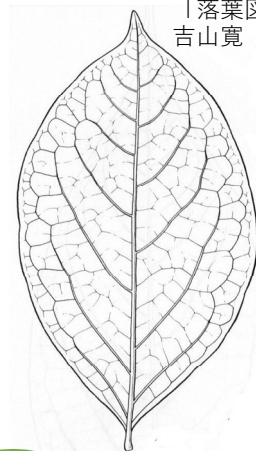
秋の里にたわわに実る柿、私達は昔から柿を食べてきました。今私達が食べている柿は、品種改良された、大きくて、甘くおいしい柿ですが、そのご先祖様についてはまだわかっていません。

- ✿ 他の産出報告 ^{たつみ}鳥取県辰巳峠・^{おしまはんとう}福島県西会津町・会津若松市・北海道渡島半島吉岡・石川県能登半島能登島(産出年代はすべて中新世)
- ✿ 飛鳥時代、弥生時代の遺跡からも、種子が出土しています。

カキの葉の特徴

- ★葉の縁がなめらかで、ギザギザ(鋸歯)がない
- ★葉は、真中あたりが一番広い
- ★斜め上に向かう脈(側脈)は 葉の縁にいかず、一つ上の側脈と結合している

カキの葉のイラスト
「落葉図鑑」文一総合出版
吉山寛 石川美枝子より引用



現在のカキの葉

化石と
現在のカキの葉



ムカシヤマガキの葉の化石
群馬県立自然史博物館所蔵
GMNH-PB0001520